2020年度

自己点検・自己評価報告書

専門学校　　日産愛媛自動車大学校

2021年　6月　30日　作成

目　　次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等 1

【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか 2

【1-2】 学校における職業教育の特色はなにか 3

【1-3】 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

【1-4】 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。

基準2 学校運営

【2-4】 目的等に沿った運営方針が策定されているか

【2-5】 運営方針に沿った事業計画が策定されているか

【2-6】 運営組織や意思決定機能は、規則等により明確化されているか、また、有効に機能しているか。

【2-7】 人事・給与に関する制度は整備されているか

【2-8】 教務・財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか

【2-9】 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか

【2-10】 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

【2-11】 情報システム化等による業務の効率化が図れているか

基準3 教育活動

【3-1】（目標の設定等）教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

【3-2】（目標の設定等）教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

【3-3】（教育方法・評価等）学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

【3-4】（教育方法、評価等） キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。

【3-5】（教育方法、評価等） 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている

【3-6】（教育方法、評価等） 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習棟）が体系的に位置づけられている。

【3-7】（授業方法、評価等）授業評価の実施・評価体制はあるか

【3-8】（授業方法、評価等） 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか

【3-9】（授業方法、評価等） 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか

【3-10】（資格試験） 資格取得の指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけはあるか

【3-11】（教職員） 人材育成目標の達成に向け授業を行なうことができる要件を備えた教員を確保しているか

【3-12】（教職員）」関連分野における業界等との連携において、優れた教員（本務・兼務を含む）を確保しているか

【3-13】（教職員） 関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。

【3-14】（教職員） 職員の能力開発のための研修等が行われているか

基準4 教育成果

【4-1】就職率の向上が図られているか

【4-2】 資格取得率の向上が図られているか

【4-3】 退学率の低減が図られているか

【4-4】 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

【4-5】 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

基準5　学生支援

【5-1】 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

【5-2】 学生相談に関する体制は整備されているか

【5-3】 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

【5-4】 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

【5-5】 課外活動に対する支援体制は整備されているか

【5-6】 学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか

【5-7】 保護者と適切に連携しているか

【5-8】 卒業生への支援体制はあるか

【5-9】 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

【5-10】 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか

【5-11】 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか

基準6　教育環境

【6-1】 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

【6-2】 学外実習・インターンシップ、海外研修等にいついて十分な教育体制を整備していいるか

【6-3】 防災に関する体制は整備されているか

基準7　学生の募集と受入れ

【7-1】 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか

【7-2】 学生募集活動は、適正に行われているか

【7-3】 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか

【7-4】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

【7-5】 学納金は妥当なものとなっているか

基準8　財務

【8-1】 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

【8-2】 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

【8-3】 財務について会計監査が適正におこなわれているか

【8-4】 財務情報公開の体制整備はできているか

基準9　法令等の遵守

【9-1】 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

【9-2】 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

【9-3】 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

【9-4】 自己評価結果を公表しているか

基準10　社会貢献

【10-1】 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

【10-2】 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

【10-3】 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

基準1　教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念、目的、育成人材像は、日産学園全体として【教育理念】【教育方針】にうたっており、それに従った教育を展開している。 メーカー校として、変化する業界のニーズにいち早く応えていく為、常に将来を見越した人材の育成構想を描いている。	【教育理念】 つねに時代をリードする人間力・技術力を兼ね備えた自動車エンジニアを育成し、自動車業界および社会の発展に貢献する。 【教育方針】 1. 幅広い自動車技術とプロを目指すための実践力を習得させる。 2. お客様に感謝されることを喜びとするマインドとコミュニケーション力を育成する。 3. 社会人として愛され信頼される豊かな人間性と、たゆまぬ向上心を育む。 4. それらを「クルマの持つ魅力・可能性・人との係り」の学びを通して実現する。

【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行なう理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	4	明確に定められている	なし	学校案内パンフレット ホームページ
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方策を持っているか	4	教育方針に則り、具体的なカリキュラム編成を検討、あるいは、学生指導の方針・方策をシラバスに反映している。	なし	
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	4	不定期ではあるが、環境をみつつ見直しを実施している。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像などは、明確に定められている。 今後も、環境変化に合わせて定期的に見直していく。	

【1-2】 学校における職業教育の特色はなにか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	4	メーカー校として、メーカー（日産）が提供している整備技術や、お客さまへの対応技術を、カリキュラムや学生指導におりこみ、整備業界にふさわしい人財の育成に努めている。 また、自動車に対する興味換気とチームスピリットを学ぶ為に、レース活動に参画している。	なし	学校案内パンフレット ホームページ

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
メーカー（日産）が販売会社に提供している、業界先端の整備技術・ノウハウ、また、お客さまへの対応技術・ノウハウをベースに、カリキュラム作成や学生指導を行うことで、整備業界をリードしていくにふさわしい人財の育成に努めている。	メーカーブランドにふさわしい、社会人としての行動ができることを体得させていく事に重きを置いている。

【1-3】 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期構想を抱いているか	4	日産校共通の中期経営計画に基づき事業計画を策定している。その中で18歳人口の減少やくるま離れに伴う入学者確保が大きな問題となっているが、方策として2021年度から留学生向けの国際整備科を新たにたちあげるべく、準備完了した。	国際整備科の新規設立を告知し、留学生の獲得に努める。	中期計画

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期経営計画の中で、安定的な入学生確保のための方策として、留学生向けの国際整備科の設立を実施。新科の立ち上げは、約20年ぶりとなる。	留学生やリカレント生など、募集ターゲットの多様化に合わせて、新しい教育を提供していきたい。

【1-4】 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
1－4－1 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	4	周知徹底を図っている。課題であった新任教員への浸透については、日産他校をベンチマークし、研修を立ち上げた。 理念・教育方針は職員室に掲示。学校外へは、学校案内、ホームページなどで公表している）	なし	学校案内パンフレット ホームページ

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
周知徹底を図っている。更に、学生には折に触れて教育方針の浸透を図る。新任教員向けの教育制度も新たに立ち上げた。 （理念・教育方針は職員室に掲示。学校外へは、学校案内、ホームページなどで公表している）	一年間を経過したところで、新規教育制度の振り返りと玉成を図りたい。

基準2 学校運営

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
・運営方針・事業計画は、中期、年度と策定され、教職員に展開・周知される。 ・組織は、体系だって構成されており、運営するための仕組みは、”意思決定の規定” ”人事規定・賃金規定””コンプライアンス規定”等、既に整備され運用されている。 一方、時代・環境の変化から、採用、人事、評価等の仕組みの見直しも求められており、順次対応していく。 ・業務の効率化のため、情報システムは既に導入されているが、新しいツールの登場とともに、今後、更に改善を進めていく。特に、学生に対する教育情報などの提供が挙げられる。	

【2-4】 目的等に沿った運営方針が策定されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	4	・理念、教育方針のもとに、中期、年度の計画・方針を明確に定め、展開している。	なし	パンフレット(理念、教育方針) 中期計画 年度活動方針書
2-4-2 学校の運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっている	4	年初、活動方針と重点方策を展開し、それを基に、上長が具体的な活動方策を策定している。	なし	年度活動方針書
2-4-3 学校の運営方針を元に、各種諸規程が整理されているか	3	・基本的な学校の考え方に沿って、各諸規定は設定されている。2020年度一年間かかって従業員規則を見直した。2021年度より適用する。	業務規則やマニュアルの整備は、まだまだ不足と認識している(特に事務領域)。ルールとプロセスの見える化を行い度い。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校の目的、目標に基づいた学校運営方針は明確に定められている。 それは各教職員に伝えられ、活動の軸になっている。 2020年より、事業目標の達成度により賞与額が変動する業績評価を本格稼働させた。これにより、学校の目的、目標がよりダイレクトに伝わる体制となった。	学校目標と個人目標の関連をより明確にしたい。

【2-5】 運営方針に沿った事業計画が策定されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-1 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	4	中期事業計画と年度事業計画を定めている。昨年度から年計は各領域の上長が策定することとし、意識付けと関与度の向上を図っており、方策の精度が向上している。	なし	中期事業計画・年度事業計画
2-5-2 学校は事業計画に沿って運営されているか	3	事業計画に沿って、月次で達成状況を振り返り、目標に対しても高い達成率を上げている。但し、領域によってばらつきがあるのが課題である。例えば事務領域では上期と第3四半期の振り返りを実施したが、決算報告が遅れる等、課題が鮮明化した。	課題領域の特定と対策を行い度い。	学校目標達成状況

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
中期事業計画をベースに、年度事業計画(活動計画・予算)を策定している。	活動方策だけでなく、予実算の振り返りを定期的に行えるよう、事務局の体制強化を行い度い。

【2-6】 運営組織や意思決定機能は、規則等により明確化されているか、また、有効に機能しているか。	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-6-1 運営組織図はあるか	4	組織図がある	なし	組織図
2-6-2 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	3	毎年、学校の目的、目標達成のため、組織編成を見直している。また、月次の上長会議にて、学校の重要課題を共有化し、意思決定している。また、評価者研修やマネジメント研修が奏功し、職制のマネジメント力が向上しつつある。	学校法人化後、事務局では、2名の事務長退職、2名の事務員産休がある等、担当者の入れ替わりが激しい為、業務品質が一定せず、採用方法の見直しが必要である。	組織図
2-6-3 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっている	3	職務分掌は明確になっている。(組織図、業務分担表) 担当の入れ替わりが激しい為、業務品質とスピードにばらつきがある。また手戻り業務も多い。	業務規程とマニュアルを充実させたい。	組織図・業務分担表

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校としては、組織図で各権限基準を示している。また、各教職員の職務については、業務分担表が示しており、各々有効に機能している。学園本部と当校の役割分担も実効性、効率を考え、必要に応じて見直しつつ運用している。	急な休職(産休)や退職に対応できるよう、業務規定とマニュアルを充実させたい。

【2-7】 人事・給与に関する制度は整備されているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-7-1 学校運営に必要な人材の確保と育成がおこなわれているか	3	中期、年度の計画を通じ、優秀な教員人材の確保が課題である。自校採用など、計画的に実施しているが、入学者数の増加と人材流出に追いつかないのが実態である。 育成については、2020年度より新任教員教育を導入した。	グループ企業間での人材交流スキームの充実、リモート授業による他校資源の活用、教職員のマルチタスク化等、新規採用に頼らない人材確保法を構築したい。	
2-7-2 人事考課制度は整備されてい	4	組織の活性化のため、新人事制度として業績評価を導入、2020年度から本格運用を開始した。	なし	
2-7-3 昇進・昇格制度は整備されているか	4	2019年度から、新人事制度として、昇進・昇格の透明性・公平性を高めるべく、プロセスとルールを整備、2020年度は2年目を迎えて、新制度への理解が進んだ。	なし	
2-7-4 賃金制度は整備されているか	4	2020年度は、新人事制度導入3年目にあたり、職制の意欲向上の為、職制手当の増額や業績評価への日産校評価結果の反映を行った。	なし	
2-7-5 採用制度は整備されているか	4	2020年度から、グループ企業との間で人材交流スキームを導入。実務経験があり、人材育成に興味のある優秀人材を当校に出向させ、教員経験を積んで現場に戻るという還流制度を整備した。	なし	
2-7-6 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	4	教職員の増減については、中期に亘り月次で情報を把握している。更に昨年よりワンオンワン面談を行い、キャリア希望や就業意欲等を早期に把握する仕組みを構築している。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校法人化後3年間で、”頑張った者が報われる”学校の為、人事や賃金の制度改革を足早に進めてきた。貢献評価の明確化、業績評価の導入、職制ポジションの設定と報償制度の整備、形はできつつも、評価品質の向上等、中身の向上は途上であり、他校、他社を参考に、更に玉成を図る。	

【2-8】 教務・財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-8-1 意思決定システムは確立されているか	4	・学校内での職員会議・朝礼・終礼を中心に確立している。	なし	
2-8-2 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み（会議等）が制度化されている	4	・校内での意思決定はその都度行っている。 ・各クラスを取り仕切る教員の間は、学年ごとの会議にて各自の認識のすり合わせを行っている。 ・2019年から、月次で上長会議を行い、課題の共有化と解決を図っている。	なし	
3-8-3 意思決定の階層・権限等は明確か	3	・意思決定の階層・権限は各領域ごとに明確になっている。	学生に対しては、一次的には担任が指揮をすることになるが、上司や学校トップへの報連相にばらつきがあり、ルールの徹底が課題である。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校としての意思決定のシステムはほぼ確立している。	学校という特殊な環境から、学生に対する一次的な判断は、各担任が下す場合が多い。従って、教職員と学校の認識が一致していることが重要であり、その機会は設定したものの、質の向上が必要である。

【2-9】 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-9-1 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	コンプライアンスへの社会の意識が大きく変わる中で、以下のような各領域で教職員・学生に対応している。 ・道交法順守、違法改造の徹底防止・個人情報の保護等の考え方を織り込んで、学則・従業員規則を変更。ハラスメント教育に代表される個別研修を実施している。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自動車業界として、また、地域に根差す学校として、教職員、及び、多くの学生に対して、コンプライアンスには適切な対応をするよう、啓蒙、指導を含む活動を行っている。	近年、車両の違法改造、あるいは、車両運行に対する業界を含む周囲の見る目は大変厳しくなっており、学校も認識を新たに学生の指導に取り組んでいる。

【2-10】 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-10-1 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	学則、学NAVI（学生の行動基準）は学生に紙面にて公開すると共にHPでも公開している。またシラバスも公開している。高等教育の修学支援制度の適格校となるにあたって、諸資料の整備を行い、2020年度もアップデートしている。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育活動に関する情報は、校内の公開が主であるが、HPでの公開も進めている。	

【2-11】 情報システム化等による業務の効率化が図れているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
2-11-1 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	3	・学生データを管理する基幹システムを整えている。 ・サーバーの利用で、効率的な情報共有を可能にしている。 ・2020年は、募集システムに加え就職管理システムを導入、出席・欠席を管理する教務システムの準備を実施した。	2021年から、学費管理システムの立ち上げを検討する。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日産校共通で、スクールリーダーという学校事業の基幹データシステムを導入し、学生に関する情報を一元的に管理することができるようになった。その他、日産校間での共通サーバでの情報共有により、教職員の業務処理の効率化を進めている。	

基準3 教育活動

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育理念・方針に沿って教育課程は編成されている。具体的には、国家資格や、業界のニーズを踏まえた、具体的必要要件を積み上げ、カリキュラムを組み上げている。 年々、現在の実施状況の評価や、国家資格の要件、企業ニーズの変化により授業を見直している。 より実践的な知識・技術を習得するために、キャリア教育の充実や、インターンシップなどの推進にも力を入れている。しかし、学生の社会人としてのモチベーションの醸成はまだ十分とは言えず、今後の課題である。 教育の要となる教員の教育も、専門技術、教授力の両面での強化を図ろうとしている。しかし、まだ、教授力の強化が十分ではなく、今後、更に研修制度やOJTの充実を検討したい。	

【3-1】(目標の設定等)教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3－1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	理念、教育方針に沿って教育課程の編成・実施方針を策定している。2018年度より教育の質の向上を図るために、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの3ポリシーを整理し、それに適った方策を実施している。主点は、学生の自主性、主体性の育成である。	2018年度から3年間をかけ、授業・生活指導を通じて、学生の自主性、主体性を育成してきた。成果を定量的に測定する為に、PROG(ジェネリックスキル測定試験)を2019年から導入し客観的な分析を行っているが、経年変化を捉えるには2年分しかなく、継続が必要である。	中期計画 年度計画 PROG結果

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
理念、教育方針に沿って教育課程の編成・実施方針を策定しており、国家資格の合格率や就職率から適切な水準にあると考えているが、更なるレベルアップに努めたい。	

【3-2】(目標の設定等)教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-2教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	年次に応じた到達レベルや学習時間確保を明確にしている。日産5校でスタンダートを策定しているが、当校の学生実態に合わせ、カスタマイズをしている。	なし	授業ベース 実習STD 就職STD

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育理念、育成人材像や業界ニーズを、学科は「授業ベース」、実習は「実習STD」、職業教育は「就職STD」の形で、年次に応じた到達レベルや学習時間確保を明確にしており、適切な水準にあると考えているが、環境変化に合わせ更なるレベルアップに努めたい。	2020年度はコロナ禍にあって、4月から2カ月間、自宅学習という未曽有の事態となったが、年度終了時の国家資格合格率では、二級、一級共に日産5校目標に到達し、年初の遅れを挽回することができたと判断する。

【3-3】（教育方法・評価等）学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-3-1 カリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	3	絶えず他校をベンチマークしながら、内容を吟味し、体系的に編成しているが、実習車の入れ替えによる最新技術のカリキュラム更新が必要。	関連機材含めて実習車を計画的・定期的に入れ替えて、カリキュラム更新に繋げたい。	学びの樹 実習STD
3-3-2 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	明確になっている。骨子の作成やSTDは企画支援部が策定し、具体的カリキュラムの作成は教務、教科リーダーが実情に合わせて一定の範囲内で作り変えている。	なし	
3-3-3　カリキュラムを定期的に見直しているか	3	教科書改訂や企業のニーズなどを定期的にチェックし、改定すべき点を確認し、織り込んでいる。	校内・校外での授業聴講など、より教育現場に根差したカリキュラムの評価制度を確立したい。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科、実習いずれも学生が修業年限で到達レベルに達するために理解しやすいよう、教える順番をを綿密に検討し、内容も判り易さを考えて吟味し、体系的に編成している。毎年、教科書改訂や企業のニーズなどをチェックして、それを改定している。	新技術についての学習機会として、日産自動車や日産販売会社の協力により特別教育を実施している。

【3-4】（教育方法、評価等）　キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-4-1 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	3	業界・就職先（メーカー・販社）のニーズに基づきカリキュラムの開発・改定を行っている。	学生の多様性がひろがる中で、様々な学生が意欲が持てるカリキュラムを目指し、タイムリーに見直しを行いたい。。	法定外教科

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
常に業界・就職先（メーカー・販社）のニーズに基づきカリキュラムの開発・改定を行い、法定外教科であるが、必須教科として時間を確保し、全員に履修させている	

【3-5】(教育方法、評価等) 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている	

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-5-1 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている	3	業界(販社、メーカー)の意見、動向を見ながら、カリキュラムの内容に反映している。	自ら学ぶ時間を確保するために、カリキュラムの効率化を図りたい。また、今後はオンデマンドを活用した自習を積極的に取り入れたい。	販社アンケート 情報交換会 (日産自動車)

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
業界(販社、メーカー)の意見、動向を、定期的なアンケートや情報交換会で確認し、カリキュラムの内容に反映している。	

【3-6】(教育方法、評価等) 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられている。	

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-6-1 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられている。	4	企業の求める基本的な技術能力要件を授業に織り込み、修得したことをインターン実習を通して披露している。2020年については、コロナ禍により販社現場でのインターンを中止し、県内企業から講師を招き、校内でのインターン授業を工夫した。	なし	4年インターン TS3級技能要件 TS2級技能要件

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
企業の求める基本的な技術能力要件を1, 2年次、3, 4年次それぞれのレベルに応じて授業に織り込み、修得したことを企業に報告している。整備科は、2年次に内定先インターンを実施。一級工学科は4年次に1, 5ヶ月のインターンを正教科として実施している。	2020年はコロナ禍の為、インターン授業を校内で実施せざるを得なくなったが、インターン授業内容のばらつき是正、及び評価の一元化が可能となった。この成果を、地元販社でのインターン授業復活時にも活かしたい。

【3-7】（授業方法、評価等）授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-7-1 学生による授業評価を実施しているか	2	授業ごとに学生アンケートを実施している。	アンケートの実施が教員判断に任されており、学校全体として体系的に実行されていない。	
3-7-2 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	2	授業聴講と結果のフィードバックを推進している。	管理監督者層だけでは、工数的な問題もあり、十分授業の状態が把握、評価できているとは言い難い。一般の教員の間も、ベテラン、若手間で同様の指導ができるよう検討したい。	

5. 完璧　4. かなり進んでいる　3. 普通　2. やや足りない　1. ほとんど進んでいない　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校での授業における、学生の評価（授業アンケート）、管理監督者の評価（授業聴講）は実施しているが、回数や頻度、さらには成果の共有化の仕組みなどが体系化できていない。また、他日産校との定期的な授業聴講や意見交換等も課題である。	FY20については新型コロナウイルスの感染防止対策として、学年により授業時間をずらしているため、他学年の授業聴講の実施回数が少なかった。

【3-8】（授業方法、評価等）　職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-8-1 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	職業教育に対し、外部関係者（企業）と連携（評価を受けつつ、相談）している。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業教育に対し、外部関係者（企業）と連携（評価を受けつつ、相談）している。	

【3-9】(授業方法、評価等) 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-9-1 成績評価・単位認定、進級・卒業基準は明確になっているか	4	成績評価・認定、その先の進級、卒業の基準も明確になっている。	なし	学則・学ナビ
3-9-2 他の高等教育機関との関係の単位互換に関する明確な基準があるか	3	大学院との単位互換については、協議してない。放送大学受講者については、授業時数と単位認定について協議し、明確な基準を適用している。	放送大学受講者(大学卒業資格取得可能)の増加に努めたい。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
成績評価・認定、その先の進級、卒業の基準も明確になっている。 放送大学との単位互換については、企画本部と放送大学との間で協議している。	

【3-10】(資格試験) 資格取得の指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけはあるか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	4	すべての法定教科は目標とする資格(国家一級、国家二級)のためのものであり、年間カリキュラムに織り込んで明確に定められている。直前の国家資格対策もカリキュラムに織り込んでいる。	なし	年間計画 統一試験 特訓計画
3-10-2 目標となる資格をサポートできる教育内容になっているか	3	2年間、4年間の中で、上記カリキュラムで履修した内容の理解度確認を定期的に統一試験として実施。併せて直前の国家試験対策でサポートしている。	学生の多様性がひろがる中で、多様性の理解とそれぞれに対応したサポートを行う指導力の修得が課題であり、研修が必要であると認識している。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
目標とする資格(国家一級、国家二級)取得に向け、知識習得に必要な時間は、年間カリキュラムに織り込んで明確に定められている。その中には、直前の国家資格対策も含まれている。	

【3-11】（教職員） 人材育成目標の達成に向け授業を行なうことができる要件を備えた教員を確保しているか	

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-1 学科の育成目標に向け授業を行なうことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	3	教員の確保については、グループ会社との間で人材交流スキームを確立しており、日産の中で最高レベルの有資格者の転籍や、人材育成に興味を持ちかつ教員資質にポテンシャルのある人材の出向など、実績があがっている。	学科新設や新入生増に対応すべく、若手人材の確保を加速する必要がある。	
3-151-2 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	4	教員全員が整備士資格の有資格者であり、販売会社での実務経験を有していることは当校の強味のひとつである。	なし	
3-11-3 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	3	国家資格と受講した研修により、専門性を把握。 授業への反映は、授業を通じて行っている。	整備という専門分野に関する資格や研修経験は豊富であるが、最先端技術等絶えざる勉強が必要である。	
3-11-4 教員の専門性を向上させる研修を行なっているか	3	外部研修（専門技術及び教授力）、及び、担当科目を広げていく事で、各自の専門性の向上を目指している。 更に2020年度については、全教員の協力下、新入教員向け研修を実施した。	2020年度については、コロナ禍の為、他県で実施される外部研修参加を自粛せざるを得なくなった。コロナ終息次第、参加再開したい。 研修の場を増やす、研修に参加しやすい環境を整えるなど、更なる工夫が必要である。	
3-11-5 教員の教授力（インストラクションスキル）を適宜把握し、評価しているか	3	管理監督者の授業聴講を通じて、評価するようにしている。	教授力を客観的に評価するしくみと、向上のための育成システムを体系化する必要がある。	
3-11-6 教員の教授力（インストラクションスキル）を向上させる研修を行っているか	3	管理監督者の評価を基に、外部主催含め適切な研修を選んで受講するようにしている。	外部研修への参加も更に促進したい。加えて、教科グループや、ベテラン教員を活用した研修を検討したい。	
3-11-7 教員間（非常勤講師も含めて）で適切に協業しているか	3	留学生向けの日本語補講に外部講師を招請するなど、必要な協業を行っている。	教員間のミーティングを増やしたい。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人材育成の為に、必要な資格、一定の専門性を有した教員を常勤で確保しており、その専門性や、教授力向上の為の力量の把握や、教育にも力を入れている。 但し、教授力の指導、教育は、まだ十分とは言えず、今後、更に充実を図っていく。	

【3-12】(教職員)関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務を含む)を確保しているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-12-1 関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務を含む)を確保しているか	4	企業(販社)からの出向者に授業を担当してもらい、最新かつ、実践的な技術指導を行っている。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
企業(販社)からの出向者に授業を担当してもらい、最新情報での実践的な技術指導を行っている。	

【3-13】(教職員)　関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-13-1関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。	3	メーカーの主催する新技術の習得や、専門学校協会の主催する指導力育成研修での資質向上などに取り組んでいる。	特に指導力育成分野での教育の更なる充実が必要。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
メーカーの主催する技術研修による新技術の習得、専門学校協会の主催する指導力育成研修での資質向上などに取り組んでいる。 今後、更に指導力育成を中心に資質向上の取り組みの強化を検討したい。	

【3-14】(教職員)　職員の能力開発のための研修等が行われているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
3-14-1 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	個人別キャリアプラン制度を導入し、強み、弱みを分析した上で、教員同様、コーチング、プレゼンテーション研修、改善スキル研修など実施している。	なし	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教員同様、コーチング、プレゼンテーション、改善スキル研修など実施している。	

基準4 教育成果

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
退学率は、目標をクリアするとか、退学率を下げることを優先するのではなく、育成プロセスをきちんとまわす中で、一人一人の学生のモチベーションを維持させることに腐心している。 その中で、教員の学生指導力の更なる向上を行っていく必要がある。 就職率は、事務局、教育部が連携して就職活動を展開することで、斡旋希望者100%の実績を継続している。 資格取得は、二級整備士については100%を達成できているが、国家一級整備士については、就学期間が長いこともあり、学生のモチベーションの維持が大きな課題である。	

【4-1】就職率の向上が図られているか

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	就職(求職)対象者全員に対して、就職を斡旋し、毎年100%の実績を上げている。	なし	
4-1-2 就職成果とその推移に間する情報を明確に把握しているか	4	就職対象者全員の、受験状況ならびに内定までの状況をリアルタイムに把握している。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職のあっせんを希望している学生に対しては、例年100%の就職斡旋を行っている。	

【4-2】 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 資格取得率の向上が図られているか	3	二級整備士資格は毎年100%の取得に向けて、国家一級整備士資格は90%以上の取得に向けて対策を立てている。	1級整備士試験は過去の事例にとらわれることなく、他校を徹底的にベンチマークして合格率を向上させていく。。	
4-2-2 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握している	4	教育部の目標に織り込んでおり、実績は明確に把握している。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
国家一級整備士資格の合格率を100%にする為、1年次からの指導方法を改善したい。	一級工学科の指導方法について、徹底的な他校のベンチマークを行う。

【4-3】 退学率の低減が図られているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-3-1 退学率の低減が図られているか	3	・学生個人の育成計画を策定し、面談の回数や時間を増やすことで、問題学生の早期発見とケアの強化を図っている。 ・2020年も、退学者ゼロを目指し教員が一丸となって取り組んだ学年では、留学生含め退学者が激減した。	・成果をあげる学年がある一方で、学級や教員によりばらつきが発生している学年もある。 ・学校全体の課題として、より定量的に・体系的に退学理由を明確化し中長期的に解決を図る必要がある。	
4-3-2 入学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	入学者数については、週次の募集会議、月次の上長会議会議や朝/夕礼にて情報を共有し、振り返りを行っている。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学率については、限度目標を定めてはいるものの、そもそも退学者を出さないことが目標ではなく、生徒一人一人にあった育成・指導を行う中で、いかに修学に対するモチベーションを維持するかが重要と考えている。その為の指導力向上である。	退学率については、コロナ禍の中、経済的に苦しい学生、特に留学生が増えており、経済基盤の改善と共に指導支援を行う必要を痛感している。

【4-4】 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-4-1 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	卒業生アンケート（就職先と卒業生の声）や、企業訪問時（インターンシップ訪問など）、就職先の技術大会への選抜の状況などを通じて把握している。	日産販社での情報は把握いやすいが、他社の情報取得が難しいので、取得スキームを確立したい。	
4-4-2 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	・社内技術大会において、高い評価を得ている。 ・当校にとっては初の留学生卒業生となる、2020年4月入社留学生も、それに続く2021年4月入社留学生も、日本語コミュニケーション力とお客様対応力が高く評価されている。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生アンケート（就職先と卒業生の声）で卒業生全体の状況を、企業への就職活動時に卒業生の個々の状況・評価を把握している。	

【4-5】 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
4-5-1 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生アンケートや、企業訪問などを通じて得られたキャリア形成の為に必要な教育活動の情報は、カリキュラムに活用している。	知識・技術的な課題よりも、社会人・企業人としての基礎力の充実が求められており、授業への落とし込みが必要。 また、企業ごとの定着率データも取得したい。	

基準5　学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
進路・就職に関する支援体制は、全体として整備されている。 クラス担任、教育部が連携し、各ステップで具体的活動の指導や相談にあたっている。 学生の健康面での支援では、近年メンタル面でのサポートの必要性が言われており、当校でもカウンセリングの先生の支援を得て対応している。 学生寮では、寮監が保護者に代わり、手厚い対応を行っている。	

【5-1】 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	学園本部が、系列校の就職情報の一括管理を行っており、そのもとで、当校内の事務局職員と教員とが連携し、円滑に行われている。（求人情報の取得から、教員・学生への展開は円滑であり。企業別・個人別の進捗状況はシステム上で確認できる）	なし	・就職マニュアル ・CAPS
5-1-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	学内にて企業ガイダンスを実施、企業訪問を推奨し、会社説明会にも参加させている。2020年度はコロナ禍にあって、県外企業の訪問は自粛した為、Web説明会の開催など、企業の一緒になって工夫を行った結果、1名を残し全員1・3年のうちに内定を得た。	なし	
5-1-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	クラス担任との学生個別面談（就職先企業選択など）・事務局職員との個別面談（就職先企業の情報確認など）を実施し、キャリアアドバイスを行っている。	なし	
5-1-4 就職の具体的活動（履歴書の書き方など）に関する指導を実施しているか	4	クラス担任・事務局職員・外部講師により履歴書の書き方から面接試験等のトレーニングまで実施している。 コロナ禍にあって、当校生徒が不利となることを避けるべく、県外企業への面接送迎を実施した。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
進路・就職に関する支援体制は、整備されていると考えている。 各々の判断時期を含めたスケジュールを学生に展開し、各ステップで具体的活動の支援を行っている。その間での相談事は随時、クラス担任を主に事務局も連携してサポートしている。試験で不合格となる学生についても、諦めずに就職先が見つかるまで手厚く指導支援している。きめ細かな就職支援は、当校の特徴であり、強みであると考える。	職業観の多様化の中、就職選択の意識が不十分なまま就職し、早期の離職などにつながる懸念もあり、職業観の醸成に更に努めていく。

【5-2】 学生相談に関する体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	3	各正副クラス担任が、学校側からの定期・不定期の学生面談を行っている。また、学生の相談にも応じている。	若手や新人教員の指導にばらつきがでないよう、教員間の情報交換と連携を密にすると共に、科長の支援責任を明確にしたい。	
5-2-2 学生から相談に応じる専用カウンセラーがいるか	3	必要に応じカウンセラーの先生に対応をお願いしており、その結果は担任へフィードバックされる。	学生の多様性が広がる中で、より気軽にカウンセラーを活用する風土を醸成したい。	
5-2-3 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	3	担任の他、留学生担当を置いて対応している。	留学生の増加に伴い、留学生担当教員への負担が増加している為、事務局との業務分担の見直しやサポート体制の構築を行いたい。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門的な技術と情報を持つカウンセラーの配備により、学生への指導サービスが充実すると共に、教員の負担が軽減できた。	コロナ禍での不安や緊張に対応すべく、カウンセラーとのリモート会議の推奨等、全校で学生を支援していく体制を充実させたい。

【5-3】 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-3-1 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能されているか	4	・学生支援機構の奨学金制度、特待生・遠隔地による学費減免制度、企業推薦生・女子学生への減免制度を設けている。また、各家庭の事情に応じた分納対応などを行っている。留学生にもN2減免や公的奨学金制度の推奨など、きめこまかに支援する体制が確立している。	なし	募集要項（奨学金）
5-3-2 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	3	・学費の分納制度がある。 ・月次で未納状況を把握し、滞納者に対しても、支払い計画の提出により納期を延期する等、個別事情を勘案した対応をしている。 ・2020年度は、コロナ禍により送金停止した留学生が多数発生した為、支援金の支給や納期延期等の対策を行った。	コロナ禍による生計急変や本国からの送金停止により、従来の奨学金制度では救済できない生徒も発生しており、退学を余儀なくされるケースもあり、非常にせつない。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の経済的支援は、全体的に整備されていると考える。 （学生支援機構の奨学金制度、特待生・遠隔地による学費減免制度、販社推薦生・女子学生への減免制度を設けている。また、各家庭の事情に応じた分納対応などを行っている。）	

【5-4】 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-4-1 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制は	3	・在学中は、毎年、健康診断を実施し、異常のある学生に対しては、再検診させている。	環境変化にあわせ、診断項目の見直しと健康指導の充実に努めたい。	
5-4-2 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	・教育部が、定期健康診断の結果をチェックしカルテ保存。 ・救急（怪我など）には、教育部、事務局が窓口になり対応。 ・2019年度からコロナ対応体制とマニュアルを整備し、毎日健康観察を実施。結果2020年度は通学生の陽性者1名と、クラスター発生を抑えることができた。	なし	
5-4-3 学生からの健康相談等に応じる医師・看護師等がいるか	4	・委託している校医がいて、健康相談等対応している。（非常駐）	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校保健安全法に基づき、毎年定期健康診断を実施し、その結果を管理している。学生からの健康相談は、非常勤の校医が対応するが、近年言われているメンタルへの対応については、専門のカウンセラーが対応している。2019年度については、新型コロナ肺炎対応マニュアルを整備し、提携病院に寮生全員や体調不良者の抗原検査を行う連携体制を構築した。	健康観察や体調不良者への検査、校内の消毒作業など、コロナに対しては最善の対策をとっているが、長期休暇明け等は、クラスター発生リスクが高まり、教職員には極度の緊張状態が続いている。一日も早いワクチン接種に向け、働きかけを続ける。

【5-5】 課外活動に対する支援体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-5-1 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能していいるか	2	クラブ等の正規のものがないので支援していない。学年からの活動要望があるときは、その都度費用を負担している。ボランティア活動は要請があれば有志で参加している。	愛専学連・地区住民・他学校との交流を推進する活動には支援して行きたい。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
従来は、クラブ活動を実施した時の顧問教員の負担が大きく、積極的な支援を行っていなかった。2019年検討を開始したが、2020年コロナ禍により検討を棚上げした。コロナ終息次第、検討を再開したい。	

【5-6】 学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-6-1 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	・男子学生に対しては、新入生全員を収容できる規模の学生寮を保有しており、2019年に耐震工事を完了した。 ・2020年度の新入生に合わせ、留学生用の自炊用キッチンとシャワールームを増設した。 ・寮監が寮生の生活、健康維持のフォローまで広く保護者代わりに対応している。 ・高学年学生、女子学生に対してはアパート斡旋している。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
男子のみであるが、新入生全員を収容できる学生寮を保有しており、2019年度には補助金及び寄付金で耐震工事を完了し、2020年度には留学生の為の自炊用キッチンとシャワールームを増設するなど、大規模改修を継続して実施している。 寮監が、寮生の生活の面倒を保護者に代わり親身にフォローしている。	2021年度には3カ年計画が終了するので、次の中期計画を策定し、計画的に改修工事を行っていきたい。

【5-7】 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-7-1 保護者と適切に連携しているか	3	2020年度については、コロナ禍で入学式とその後の父兄懇談会を中止した為、フェイストゥーフェイスの連携機会が失われたが、体調不良や欠席については、担任から小まめに電話連絡し、以前にまして密に連携するべく意識している。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
保護者には、担任から小まめに電話連絡を行い、密な連携をとっている。	

【5-8】 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-8-1 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	2	校友会(同窓会)は組織化されていないが、随時同期の仲間が懇親会を開いている。 2020年、立ち上げを検討したが、コロナ禍で棚上げをした。	コロナ終息次第、卒業生の意見もとりいれ、交友会(同窓会)の立ち上げ検討を再開したい。	
5-8-2 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	企業の採用担当者から、随時卒業生の現況確認をしている。また、個別の制度は存在しないが、卒業生から相談があれば、随時対応している。(就職先の相談など)	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
校友会(同窓会)の定例活動はなく、随時有志が行動している程度である。 卒業生のフォローについては、個別相談への対応ということで行っており、体系化はしていない。	

【5-9】 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-9-1 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	NA	資格取得と連動した課程しか持っていないため、社会人に対する生涯講座のような授業環境はない。 また、就労しつつ資格を取る、夜間のような課程も持っていない。(そうした授業体制が取れない) 2019年度から、松山の産業校からの業務委託と言う形で、リカレント生の受け入れを開始、'20年度末に無事卒業した。	社会人向け講座の可能性について、ICTも活用しながら、検討したい。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
資格取得と連動した課程しか持っていないため、社会人に対する生涯講座のような授業環境にない。 また、就労しつつ資格を取る、夜間のような課程も持っていない。(そうした授業体制が取れない)	社会人が資格取得を目的に退職して入学する時は、教育訓練給付金の対象講座の受講生として対応している。

【5-10】 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-10-1 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	毎年、数校の高等学校のキャリア教育（職業選択）の一環として、専門学校見学を受けいれている。 高校に出向いての模擬授業も数校、毎年行っている。 更に、近隣の高等学校から生徒を受け入れ、実習場で基礎的な自動車構造授業を行い、キャリア教育に貢献している。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、数校の高等学校のキャリア教育（職業選択）の一環としての専門学校見学を受けいれている。 高校に出向いての模擬授業も行っている。	

【5-11】 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
5-11-1 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	4	現在国家一級取得を目指す卒業生を再教育するしくみを導入しており、2020年度はコロナ禍の為、リモートで指導を行ったが、評価が高かった。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業後に同じ資格教育を再度行うプログラムは持たないが、業界のニーズにより検討したい。 しかし、二級整備士を取得した卒業生が、一級整備士取得を目指すために、再入学することは考えられる。	

基準6 教育環境

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
2018年度の学校法人化後、教育上の必要性に鑑み優先順位をつけながら、中期計画、年度計画を通じて、改修工事を行っている。資金も県補助金と日産寄付金を最大限活用し、学校財務に影響を与えることなく、悲願であった和光寮と第2実習場の耐震工事を完了した。また、実習場の空調導入やトイレ改修など、就学環境の整備も行っている。 2020年度は、コロナ禍の為学外実習やインターンシップを自粛したが、逆に耐震や環境改善が成った自校施設で出前実習をお願いし、設備活用の最大化を図った。 防災に対する体制は整備されている。特に、実習中の事故防止の為の学生指導を怠らないこと、大規模災害に備え、防災訓練を継続的に実施する事を重視している。	

【6-1】 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	カリキュラム対応/新車・新技術に対応できるよう、年々整備・更新している。	なし	
6-1-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能してい	3	大規模工事後の1年点検等、契約に基づき実施している。実習後の車両整備、定期的な機器点検整備を実施している。	古い設備に対するメンテナンス体制の体系化・明文化が不十分。	
6-1-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	3	学校法人となった2018年度以降については、3年計画(2019年度;和光寮の耐震化、2020年度:第2実習場の耐震化及び空調完備、2021年度:和光寮の水回り改修)に基づき、自前施設の改修・設備更新を行っている。	学科棟の耐震化と老朽化対応が課題。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
施設、設備の更新については、補助金や寄付金を活用しながら、教育上の必要性に鑑み、中期計画、年度計画を通じて計画的な更新を行っている。2018年以降は、学生や父兄の安心・安全を第一に、耐震工事や空調工事を優先して実施した。機器の整備については、専門業者による定期のメンテナンス、教員による実習後の復元で維持している。	

【6-2】 学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備していいるか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-2-1 学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	学外実習（新入生研修/国内研修等）・インターンシップ（各課程最終年次）を実施しているが、2020年度については講師を招き、校内で実施した。	・一級工学科のインターンシップは、養成施設の指定基準があり、内容が決まっているが、そのほかの課程については相手先により、実習内容に差が生じている。学校が必要と考える内容の実施を、引き続きお願いしていく。	
6-2-1 学外実習・インターンシップ、海外研修等について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	3	各々実績を把握し、教育効果を確認している。 （一級のインターンは評価システムがある。その他インターン/学外実習は実施後のレポートで確認を行っている。） 校内で実施したインターンについては、評価の一元化が可能となり、ばらつき是正ができた。	・校内実施のインターンシップの最大課題は、お客様対応実践であり、この点を補う工夫が必要である。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育の一環として、学外実習（新入生研修/国内研修等）・インターンシップ（各課程最終年次）を実施している。	コロナ禍により、校内実施とした。結果分析し、アフターコロナのインターンシップの在り方に反映させたい。

【6-3】 防災に関する体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
6-3-1 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	3	・安全第一で避難することを優先する。防災訓練も実施している。 ・2020年、防災グッズの検討を進めたが、実現していない。	防災含めて危機対応マニュアルの完備が課題である。 早急に、寮生に対する防災グッズの備蓄を検討する。	
6-3-2 災害の起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4	・廃油は屋外の保管庫で保管し明示している ・実習棟内の簡易給油タンクは、設置エリアを明示している ・上記内容は教職員、学生に周知している	なし	
6-3-3 実習時等の事故防止体制は十分か	4	・入学時に、安全教育を行い、以降、新しい機器の扱いの度に、関係する指導を行っている。 ・実習中は、担当教員が、安全に関してはとりわけ厳しく指導にあたっている。 ・他校を含めた事故情報は、速やかに教職員・学生に伝達し、類似災害の発生防止に努めている。	なし	
6-3-4 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	・学生は専門学校協会が窓口となる総合保険に加入 任意の傷害保険も斡旋している。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災に対する体制は整備されている。特に、実習中の事故防止の為の学生指導を怠らないこと。大規模災害に備え、防災訓練を継続的に実施する事を重視して実行している。 寮は防火訓練に重点を置いている。	2019年度コロナ対応マニュアルを策定したが、これに防災も加えて、危機管理マニュアルとして整備したい。

基準7　学生の募集と受入れ

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生募集の活動は、従来から、学校の情報(資格取得実績、就職実績、経済的なものを含めた学生支援の仕組み、など)をホームページ、パンフレット、高校訪問、オープンキャンパスを通じて、正確に伝えることに努力してきたが、入学者の減少に歯止めがかからず、2019年度入学者は史上最低レベルとなった。これに対し、基盤管理を柱に、リクルーターを増員して、ガイダンスやオープンキャンパス等のあらゆる接点を活用し、一級工学科訴求、留学生獲得、AO入試促進に注力した結果、入学者を回復させることができた。 しかしながら2020年度、日産ブランドの失墜とコロナ禍に見舞われ、ガイダンス・高校訪問・オープンキャンパスは中止、募集活動は大きな痛手を被り、物理的な定員キャパの95名達成は道半ばとなった。	募集活動の基本である基盤管理活動を強化継続する。 併せて、Webガイダンスや動画配信など、新しい募集活動を模索する。 そして、何よりも当校の良さや強味を明確にし、判り易く伝えることが必要。

【7-1】 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-1-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	3	当校を志望すると思われる地域の高等学校には、リクルータが直接訪問し、当校の各種情報を進路担当教員や学生に提供している。	高校訪問活動を強化し、最西のメーカー校としての認知度向上を図りたい。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
当校を志望すると思われる地域の高等学校には、学校のリクルータが直接訪問し、当校の各種情報を進路担当教員や学生に提供している。	

【7-2】 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	年度計画を作成し、目標に対する諸活動を明確にしている。また、活動結果を週次・月次で振り返り、対策実行する等、PDCAをまわしている。	なし	
7-2-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	パンフレットやホームページは5校共通のコンテンツを使用し、毎年改善を図っている。更にオープンキャンパス参加者には模擬授業を行うなど、入学後の姿をイメージできる企画を行っている。	なし	学校案内パンフレット 学校ホームページ
7-2-3 志望者等の問い合わせ・相談に対する体制があるか	4	事務局が、問い合わせ、相談の窓口となり、募集担当に繋いでいる。基本は募集担当が電話やオープンキャンパスで相談に応じている。 2020年度は、コロナ禍にあって、Webガイダンスや面接、更には現地説明会を増やし、学生の利便性を高めた。	なし	
7-2-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	3	ガイダンス、高校訪問、オープンキャンパスが軒並み中止となり、募集活動が大きく制限された。また経済的な理由での辞退者が出た。 結果、入学者は88名となり、95名の募集定員を未達した。	コロナ禍により、接触型の募集活動が制限される中で、非接触型方策を拡充する必要に迫られている。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集は、中期計画、年度計画に則り、学生支援室を中心に活動している。 2020年度、ガイダンスやオープンキャンパス等の接触型活動が制限される中で、Webガイダンスや面接を導入、動画配信を強化し、新しい募集活動を模索した。	新しい募集活動の普及と定着には継続が必要である。

【7-3】 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-3-1 募集活動において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は、パンフレット、ホームページなどに掲載し正確に伝えている。	なし	学校案内パンフレット 学校ホームページ
7-3-2 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	3	卒業生の活躍については、学校案内パンフレット等に掲載している。また、現地説明会では卒業生自らが高校生に教育成果を伝えている。それらのことが、応募者の一部に影響している事は確認しているが、全体として募集に対してどれほど貢献しているかを数値化することは難しい。	卒業生の国家資格取得率が学生募集に貢献していると思うが数値化が難しい。一級工学科卒業生のメリットと活躍状況等、より具体的な事例を提供したい。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集活動において、当校の資格取得、就職状況は、日産校の統一基準に従い、きわめて正確に伝えられている。（学校パンフレット、ホームページなど）	

【7-4】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-4-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	AO入試、一般選考、推薦選考すべて、判定会議において、基準に基づき公平に合否判定を行っている。 会議においても、判定に迷う場合は、別の試験官による再面接を実施している。	なし	
7-4-2 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	各入試終了後、まとめている。 （出願数、合格数、不合格数、辞退者数等）	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各種選考に応募する条件も、極めて明確に示されている。 試験自体は、筆記試験、面接試験の評定を基に、きわめて公平に選考を行っている。ただ、推薦学生は筆記が無い為、入学前あるいは入学後のフォローを徹底している。	

【7-5】 学納金は妥当なものとなっているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
7-5-1 学納金は、教育内容、学生及び保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	4	日産5校でベンチマークし、妥当と認識している。 （教育内容、世間相場を考慮して改正をおこなっている）	なし	募集要項
7-5-2 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握して	4	学科毎に正確に把握している。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日産5校のベンチマークや、競合校比較により、妥当と認識している。 学納金納入への保護者の不安解消のために、マネープランを作成し説明している。	

基準8 財務

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
愛媛校の財務状況は、累計の経常収支額も常にプラスの状態であり、無借金経営でもあることから、健全な財務状況との評価を受けてきた。2020年度もコロナ対策費の増加が懸念されたが、逆に行事費や募集の減少により、法人化後では最高となる収支額を計上できた。 しかしながら、今後は施設の老朽化に伴い改修費用が増加すること、募集競争の激化による費用増、更には授業料の低い国際整備科学生増による構成比変化が予想されることから、一層のコスト効率化に努める。	

【8-1】 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	財務基盤の基本は在校生の人数である。国際整備科の新設による留学生の獲得、一級工学科生の増加により、経営の安定化を図る。	既存のお得意様高校への訪問に加え、新規高校や日本語学校の新規開拓を確実に進めたい、	資金収支計算書 貸借対照表
8-1-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握してい	4	財務諸表により、その推移を把握している。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
整備士を目指す学生の減少は経営基盤の不安定化につながるため、一級工学科生の増加や留学生での補填など、在校生数の拡大に繋がる方策を継続していく。	

【8-2】 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 年度予算・中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	4	年度開始前に予算策定し、理事長が妥当性を確認している。決算後、必要であれば見直しをしている。	なし	
8-2-2 予算は計画に従って妥当に執行されているか	3	予算管理体制を構築し、適切に実施している。	月次の予実管理が不十分。決算の〆が遅れる。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
目標を達成すべく、年度の計画が立てられている。その予算執行については、月次の振り返り機能が弱い。事務体制の強化等対策を実施したが、学校経理の特殊性から専門性のある人材の確保は難しく、期待の成果が得られていない。	経理機能の増強が必要。

【8-3】 財務について会計監査が適正におこなわれているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-3-1 財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	適正に行われている。	なし	
8-3-2　会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	3	事務担当の産休や事務長の期中退職など、厳しい体制となったが、スケジュール通り監査実施された。	決算の遅れが課題。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
公認会計事務所により、毎年厳正に監査が実行され、監査報告書が提出されている。	

【8-4】 財務情報公開の体制整備はできているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
8-4-1 私立学校における財務情報公開の体制整備はできているか	4	高等教育の修学支援適格校となるにあたって、財務情報の公開に向けて体制整備を完了している。	なし	
8-4-2 私立学校における財務情報公開の形式は考えているか	4	学校HP上で財務3表や財産目録等を公開しており、毎年最新版を掲載している。		

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高等教育の修学支援の適格校資格獲得に向け財務情報の公開を行ったが、継続していきたい。	

基準9　法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
本校は、学校教育法、専修学校設置基準、一種養成施設認定規則、などの該当する法令に準拠しており、適正な運営が図られている。 学生の法令順守という意味では、近年社会問題にもなっている車両の違法改造、道交法の順守について、一層の啓蒙・指導を図っていく必要がある。 情報のセキュリティや、個人情報保護については、システム的な保護、教職員への周知の両面で徹底している。しかし、ネット社会の現在では、ツイッターなどで校内から容易に情報が流出しやすい環境にあり、対応に力を入れる必要がある。 自己点検、自己評価の公開についても、HPの活用などIT化を図りたい。	

【9-1】 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	

9-1-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	4	・該当する法令は遵守され、適正な運営が図られている。	なし	
9-1-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施して	3	・関係する法令等について、教職員には展開・周知を図っている。学生にも、関係する部分については、啓蒙活動を行っている。	啓蒙活動を行っても、違法改造や交通事故の撲滅には至っておらず、啓蒙活動の更なる強化が必要である。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
法令や設置基準、監督官庁の認可基準等、定められていることは適正に遵守されている。 しかし、近年、社会問題ともなっている車両の違法改造や、道交法の順守に関してまだ、学生に十分周知されているとは言えず、引き続きの啓蒙活動が必要と認識している。	

【9-2】 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関して、その保護のための対策が取れているか	3	・統一の教務・学務のシステムでは、適切なアクセス権が設定され、不必要なデータへのアクセスが出来ないようになっている。 ・教職員には、情報セキュリティや、個人情報保護に関する教育を通じ、情報の重要性、扱いの注意を徹底している。	近年はツイッターなどへの投稿の形で、校内の情報が容易に外部に流出する危険がある。そうした視点で、更に対策を考えていく必要がある。	個人情報管理基準
9-2-2 個人情報に関して、教職員・学生等に関して啓発活動を実施しているか	3	教職員には、「情報セキュリティガイドライン」教育や、「学生個人情報利用目的」教育などで、その保護の対象や重要性を教育している。	引き続き、教職員に対する啓蒙活動を行うと共に、整備の為の時間・工数の捻出が課題である。	・情報セキュリティガイドライン ・学生個人情報利用目的

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校としての情報管理、特に情報のセキュリティ、個人情報保護の視点でのハード（データの保護）、ソフト（教職員教育）の充実を進めてきている。 外部に対しても、学生・保護者の情報についての管理については利用目的を明確に通知するなど、情報開示を行っている。 ネット社会の広がりから、校内の個人情報は、容易に流出しやすい環境にあることも鑑み、更に対策を考えていく必要がある。	

【9-3】 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

点検小項目	点検の進み具合	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-3-1 自己点検・自己評価を定期的に実施し、問題点の改善に努めているか	3	従来から、年度の振り返り（点検・評価）は行ってきた。	改善方策の実行の為の時間捻出が課題である。	
9-3-2 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	4	方針は定められている。	なし	
9-3-3 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	一部の教職員に方針は伝わっている。	一般層の理解にはばらつきがある。	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価の結果、顕在化した課題については、優先順位をつけて必要な手段を講じている。	

【9-4】 自己評価結果を公表しているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
9-4-1 自己点検・自己評価結果を公表しているか	4	外部に公開している。	なし	
9-4-2 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されて	4	公開に関する方針は確立されている。	なし	
9-4-3 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	公開に関する方針は、教職員など学校内部の関係者には正確に伝わっている。	なし	

4. 適切　3. ほぼ適切　2. やや不適切　1. 不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価をこの形で実施して5年目となるが、年々精度を向上させると共に、評価委員の意見も取り入れて、耐震工事や全寮制の廃止など、重大な課題は確実に改善を行い、結果を公表している。	

基準10　社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
地元企業、関係団体に対しては、要望があれば、保有施設・設備の貸し出しや、当校で可能な講座の提供も、行っている。 また、関係する社会問題等に対しては、積極的に学生や、教職員に啓蒙活動を展開している。 ボランティア活動としては、日々の校外清掃を実施している。	

【10-1】 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	

10-1-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	・高校：職業教育への支援活動（専門学校見学） EV授業の実施 ・企業：地元企業の新人への初級整備技術教育の実施 地元企業の整備技術大会の人的・物的支援 等を行って連携を深めている。	なし	
10-1-2 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	3	地元の企業、団体には、要望があれば、学校の施設・設備を提供している。	2019年度末、新型肺炎禍が拡大してからは、学生の安心・安全の確保の為、開放を中止している。	
10-1-3 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	4	学校が関係する重要な社会問題に対しては、学生・教職員に対し啓蒙活動を行っている。 （道交法違反。車両の違法改造。個人情報保護。省エネ。など） メーカーから専門家を招き電気自動車に関する講演会を行	なし	
10-1-4 学校として重要な社会問題に具体的に取組んでいるか	4	主に自動車に関わる重要な社会問題に対して、学生・教職員で、具体的な取り組みを行っている。	なし	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
地元企業、関係団体に対しては、要望があれば、保有施設・設備の貸し出しや、当校で可能な講座の提供も、行っている。 また、関係する社会問題に対しては、積極的に学生や、教職員に啓蒙活動を展開している。 （道交法違反、車両の違法改造、個人情報保護、エネルギー問題、など）	

【10-2】 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
10-2-1 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	・学校では、毎日、学校周辺の清掃を行い、専修学校、地区の清掃行事にも参加している。 ・コロナ禍の中、接触が発生する活動については、積極的に奨励していない。	ボランティアの呼びかけがあれば学生に展開し参加を呼びかけているが、参加者が固定化している。	
10-2-2 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	3	学校、専修学校主催の定期清掃以外の、学生個人のボランティア活動は、把握していない。	学校経由のボランティア参加者は把握しているが、個人参加のボランティアについても把握する仕組みが必要である。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校では、地域全体がきれいになるようにと、清掃を通して地元の方との交流を進めている。 また、愛媛マラソンボランティア参加など、活動の幅を拡大してきたが、2020年度はコロナ禍により、活動推奨を自粛している。	新型コロナ肺炎の感染拡大により、各種活動が自粛・中止になっている。

【10-3】 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	

点検小項目	評価	ア　現状認識・評価等	ウ　課題とその解決方向	参考資料
10-3-1 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施して	3	公共職業訓練所と連携し、社会人の受け入れを実施した。	告知活動を強化し人数を拡大したい。	

4．適切　3．ほぼ適切　2．やや不適切　1．不適切　NA　当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
産業校との連携から、リカレント生の受け入れを開始したが、2020年度初めての卒業生を輩出した。販売会社での成果や定着状況を振り返り、改善をはかっていきたい。	